

事故を防ぐために

小物類を子どもの手が届くところや落下するおそれがあるところに置かないようにしましょう。また、扱いに注意を要する道具などは、子どもが気軽に使えないようにしましょう。

子どもが何かを飲み込んだり詰め込んだりしたときは、物により対処が異なります。日頃から子どもの周囲に何がどの位あるか気にかけておくようにしましょう。

● 誤飲した場合

0～1歳の乳幼児は特に、手にしたものは何でも口に運ぶ習性があります。子どもが何かを誤飲したおそれがある場合は、ただちに受診しましょう。



ないか念のため医師に診てもらいましょう。

● 眼に入った場合

作用が強く危険な薬剤が使われている製品もあるので、使用の際には使い慣れた製品でも表示を確認、眼を防御しましょう。もし、瞬間接着剤や糊等が眼に入った場合は、擦らないよう注意しながら流水で洗い、受診しましょう。特に瞼がくっついている場合は無理に取ろうとせずすぐに受診しましょう。



● 鼻や耳に入った場合

鼻や耳などに小物類が入った場合、放置しておくと思わぬ重症に発展することがあります。取り除けないときは速やかに専門医を受診しましょう。また、取り除けた場合でも体に影響が

業界への要望

子どもの身近で使われるものには、より高度な安全性が求められる。特に小物類は子どもが飲み込んだり詰め込んだりするおそれがあるため、事故時の危険を含めた注意表示を望む。

口や鼻などに入るボタン電池のような小さな工業製品は、包装パッケージごと誤飲しないようにパッケージを大きくすることや、製品から電池などが簡単に取り出せない設計にするなど、一層の工夫を望む。

●本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。

<http://www.kokusen.go.jp/kiiken/index.html>

●本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページに掲載しています。

<http://www.kokusen.go.jp/>

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、協力病院等から収集した情報をもとに、

被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。

特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。

商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。

無断転載はお断りいたします。



独立行政法人

国民生活センター

〒108-8602 東京都港区高輪 3-13-22 TEL.03(3443)1208 ●2009年5月発行

くらしの危険 Number 289

子どもの口、鼻、耳、眼から 異物が侵入する事故

お子さんの手の届くところに、
タバコやボタン電池などを置いていませんか？
お子さんが、おもちゃの車のタイヤを口に入れたり
ビーズを鼻に入れて遊んでいる風景を
みたことはありませんか？
乳幼児は手にしたものを何でも
口に運び、小さいものを体の中の
穴に入れてしまうものです。
重い事故になる可能性も
あるので注意しましょう。



異物の侵入に注意

子どもの身の回りにある、本来、体の中に入ってはならない小物類などを10歳未満の子どもが飲み込んだり、詰め込んだり、刺したりして起きる「異物の侵入」の事故が、2003年4月からの約6年間で約3000件起きています。侵入部位は、口、鼻、耳、眼の順に多い傾向です。

こんな事故が起きています

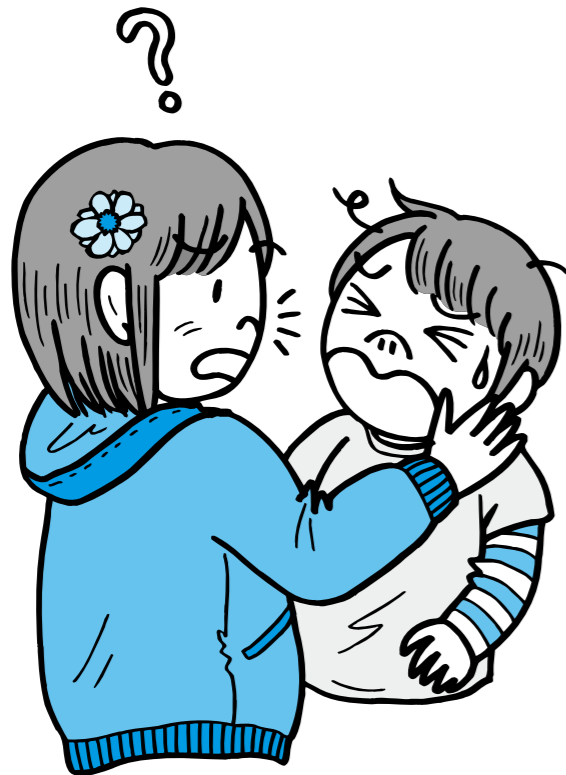
ケース 1

1歳の男児が、吸盤が複数付いているボールの吸盤を飲み込んだ様子だった。受診しX線検査をしたが異物は発見されなかった。

別の病院でCT検査を行い、胃の幽門部に蓋をするような格好で吸盤を発見した。

取り出した吸盤は胃酸等の影響から硬くなっていた。

(2008年9月)



ケース 2

姉が3歳の弟の鼻の異臭に気付き、耳鼻科を受診したところ、

ボタン電池が入っていることが分かった。

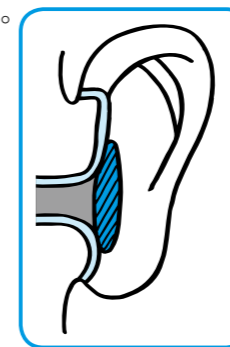
電流が流れたため鼻中隔の組織が壊死して溶け、孔が開き異臭を発していた。

(2007年8月)

ケース 3

4歳の男児がスイミングスクールで泳ぐときに使用する粘土のような耳栓が耳の孔から取れなくなった。

(2007年11月)



ケース 4

一人で遊んでいた1歳の女児の右眼に瞬間接着剤が入った。

母が気付いた時は右眼が開かない状態だったため救急車を呼んだ。接着剤はまつ毛ごと除去し帰宅となった。

(2008年5月)

ゴム製の小物類の誤飲に注意

ゴム様の柔らかい素材は飲み込んだ場合、レントゲンに写りにくい上、胃酸により硬く変化するなどで危険性が増します。誤飲しないよう注意が必要です。また、事業者には体内に入ったときのことも配慮した製品を望みます。

ボタン電池を鼻に入れたらただちに病院へ

異物の中でも特に注意が必要なのはボタン電池です。例えば鼻の中に3時間以上停滞すると粘膜の組織が壊死をおこして穴があくことがあります。慌てて取り出そうとして、逆に鼻の奥へ押し込み、気管や食道の異物になってしまう危険もあります。うまく取り出せたとしても、体に影響がないか確認すべきです。ボタン電池を鼻に入れたら、ただちに病院に行った方がよいでしょう。

口、鼻、耳、眼における年齢別件数と割合

年齢別では、1歳が最も多く、次いで0歳、2歳、3歳と続きます。0～3歳までで、全体の約80%を占めています。

部位別で見ると、口・口腔・歯では0～1歳が全体の75%を占めていました。一方、鼻・咽喉では2～3歳（3歳が最多）、耳・平衡器では2～4歳（3歳が最多）に多く発生していました。

